

第3 第1期計画の進捗状況

第1期計画では、全体目標及び分野別施策の目標をあわせて、34の指標を設定し、計画の推進を図ってきましたが、進捗状況は次のようになっています。

1 全体目標の進捗状況

第1期計画の全体目標のうちの一つである「がんの75歳未満年齢調整死亡率（人口10万対）」は、87.5（平成19（2007）年）から80.0（平成23（2011）年）と8.6%減少しており、概ね、順調に減少しています。

（注）・・・ 達成：「○」、計画策定時より改善：「↑」、未達成・悪化：「→」 以下同じ

項目	基準値	目標(値)	進捗状況	評価(注)
がんの75歳未満年齢調整死亡率	87.5 (H19)	20%の減少	80.0 (H23)	↑

2 分野別施策の目標の進捗状況

分野別施策の目標である33の指標については、19指標が「達成」、4指標が「計画策定時より改善」、8指標が「未達成・悪化」、2指標が進捗状況を確認できない状況となっています。

(1)がん医療

①放射線療法及び化学療法の推進並びに医療従事者の育成

一部評価できないものを除き、目標を達成しています。

県内医療機関における放射線療法や化学療法の実態把握については進みましたが、病院間の連携方策の検討や医療従事者の育成については、引き続き課題となっています。

項目	基準値	目標(値)	進捗状況	評価(注)
放射線治療認定医	11人 (H20.6.5現在)	増加	(参考値) 放射線治療専門医 11人 (H24.11)	※認定医制度変更のため評価できず
がん薬物療法専門医	2人 (H21.7.30現在)	増加	6人 (H25.1)	○
認定看護師(がん化学療法看護)	3人 (H20.6.5現在)	増加	9人 (H25.1.10)	○

②緩和ケア

4指標について、概ね目標を達成しています。

患者やその家族の緩和ケアに関する認知度や県内診療所等の在宅看取り状況等の実態把握を行うとともに、シンポジウム等の機会を通じた県民への緩和ケアについての知識の普及を図りましたが、医療従事者における緩和ケアの知識の向上や県民への緩和ケアの普及啓発については、引き続き課題となっています。地域における在宅療養患者等への支援（在宅緩和ケア支援センターの設置、在宅患者のレスパイト（家族の休養）等）については、具体的な施策の実施にまで至っておらず、効果的な施策の実施に向け、引き続き、がん患者やその家族のニーズの把握を進めることが必要です。

項目	基準値	目標(値)	進捗状況	評価(注)
緩和ケアに関する研修を受けた医師の増加	30人 (H20年度末現在)	500人	473人 (H24.10)	↑
緩和ケアチームを有する病院の増加	0病院	5病院	15病院 (H23)	○
緩和ケア認定看護師の増加	12人 (H20.6.5現在)	増加	20人 (H25.1)	○
緩和ケア病床の増加	20床 (H21.7.1現在)	30床	44床 (H24.10)	○

③在宅医療、④診療ガイドラインの作成

3指標のうち、病診連携のクリティカルパスの整備や在宅療養支援診療所、訪問看護ステーションの実態把握は進みましたが、クリティカルパスは十分に活用されておらず、在宅療養支援診療所や訪問看護ステーションの充実に向けての具体的な目標値の設定まで至っていない状況です。

また、「奈良県で標準とすべきガイドラインの等の確認および作成」については未達成となっています。なお、国のがん対策推進基本計画（平成24（2012）年6月）では、学会や関連団体などが、診療ガイドラインの整備を行うとともに、その利用実態を把握し、必要に応じて速やかに更新できる体制を整備するものとされています。

項目	基準値	目標(値)	進捗状況	評価(注)
各医療圏で在宅医療の病診連携のクリティカルパスを整備	0医療圏	5医療圏	5医療圏	○
在宅療養支援診療所、訪問看護ステーションの充実	—	目標値は実態調査を行った上で検討し設定	H23年度実態調査を実施	↑
奈良県で標準とすべきガイドライン等の確認および作成	—		確認・作成について未	→

(2) 医療機関の整備等

3指標について、目標を達成しています。

なお、国のがん対策推進基本計画（平成24（2012）年6月）では、がん診療連携拠点病院のあり方の検討やその検討結果を踏まえてその機能を更に充実させることが目標とされています。

項目	基準値	目標(値)	進捗状況	評価(注)
拠点病院の診療機能強化	—	すべての拠点病院が指定要件を充足	5病院が指定要件を充足	○
(仮称)奈良県地域がん診療連携支援病院の指定	—	指定を検討	1病院を支援病院として指定	○
各医療圏で在宅医療の病診連携のクリティカルパスを整備(再掲)	0医療圏	5医療圏	5医療圏	○

(3) がん医療に関する相談支援及び情報提供

8指標について、目標を達成していますが、相談支援センター、患者サロンの利用促進や相談支援の質の向上、がん診療連携拠点病院以外での相談窓口の設置は引き続き課題となっています。

項目	基準値	目標(値)	進捗状況	評価(注)
全ての医療圏に相談窓口を開設	4医療圏	5医療圏	5医療圏	○
相談支援センターの利用者数	—	増加	1,256人(H20) →2,591人(H23)	○
全ての拠点病院に患者サロンを設置	2病院	5病院	6病院	○
患者サロン利用者数	—	増加	15人(H20)→609人(H23)	○
各医療圏で2名以上のピアカウンセリングを行うことができる相談員を養成	0人	10人以上	33人 (H24.3)	○
全ての拠点病院でピアカウンセリングの実施	0病院	5病院	6病院	○
がん患者やその家族を含む県民が、必要ときに必要ながんに関する情報を得られる	—	—	「自分の健康と病気がよくわかるポータルサイト」作成	○
県ホームページ(がん関係)へのアクセス数	—	増加	8,208件(H22) →9,288件(H23)	○

(4) がん登録

3指標について、目標は達成又は改善しています。平成24（2012）年1月に開始した地域がん登録について、精度の向上が今後の課題となっています。

項目	基準値	目標(値)	進捗状況	評価(注)
院内がん登録実施病院の増加	13病院	がん診療を行うすべての病院	19病院 (H25.1)	↑
地域がん登録の実施	—	登録実施	登録開始(H24.1～)	○
奈良県のがん患者の95%が登録	—	95%	登録開始(H24.1～)	↑

(5)がん予防

6指標のうち、1指標は達成していますが、4指標は未達成、1指標については進捗状況を確認できない状況になっています。

項目	基準値	目標(値)	進捗状況	評価(注)
喫煙する者の割合の減少(成人)	男性39.3% 女性7.7% (H19)	減少	男性24.4% 女性5.3% (H23)	○
喫煙する者の割合の減少(未成年者)	(高3) 男子12.3% 女子5.3% (中3) 男子6.5% 女子2.3% (H16)	0%	—	※データ把握方法 検討中
野菜摂取量(1日平均)の増加(成人)	平均299.7g (H19)	350g以上	294.9g (H23)	→
塩分摂取量(1日平均)の減少(成人男性)	12.1g (H19)	10g未満	11.6g (H23)	→
塩分摂取量(1日平均)の減少(成人女性)	10.5g (H19)	8g未満	10.1g (H23)	→
脂肪エネルギー比率の減少 (20～40歳代)	平均26.4% (H19)	25%以下	27.4% (H23)	→

(6)がんの早期発見

がん検診の受診率については、計画策定時より向上しているものがありますが、目標値の50%に達していません。また、精密検査受診率についても、最も高い肺がんでも85.9%であり、目標値の100%に達していません。

市町村における科学的根拠に基づくがん検診の実施については達成していませんが、精度管理・事業評価の実施については、全市町村で実施されており、目標を達成しています。

項目	基準値	目標(値)	進捗状況	評価(注)
がん検診の受診率	胃がん 26.5% 肺がん 18.7% 大腸がん 26% 子宮がん 18% 乳がん 17.3% (H19)	50%以上	胃がん 29.3% 肺がん 20.2% 大腸がん24.7% 子宮がん35.7% 乳がん 35.7% (H22)※	→
市町村における科学的根拠に基づくがん検診の実施	—	全市町村		→
市町村における精度管理・事業評価の実施	—	全市町村	全市町村実施	○
精密検査受診率の向上	—	100%	胃がん 70.4% 肺がん 85.9% 大腸がん66.4% 子宮がん61.8% 乳がん 85.2% (H22)	→

※がん検診受診率は40～69歳、子宮がん検診率は20～69歳